

指定管理者制度導入方針についての新聞記事

中日新聞 2012年10月27日(市民版)より

運営を民間委託へ

市立高の野外学習センター

名古屋市の二十六区間譲渡・民営化すべき果、民間委託による運営、市立高校の野外教育活動の拠点施設「野学センター」(豊田市の)の運営を民間委託し、各区ごとにある生涯学習センターに指定管理者制度を導入する案を市議会教育子ども委員会で示した。

昨年十月に開かれた市の事業仕分けで、野学センターは「他施設で代替可能」「民営化すべき」との意見があり、「廃止」に。生涯学習センターは「見直し」と判定されていた。

野外学習センターは敷地面積百二十三万平方メートル、学級単位で使用可能な大部屋のある宿泊施設や、野球場二面、陸上競技場などのスポーツ施設がある。市教委が民間業者に管理を委託する方針。

生涯学習センターに委託する場合は、施設の管理業務は民間でも実施可能で、指定管理者制度の導入などにより、さらなる効率化が期待できると判断した。一四年度に三館程度で指定管理者制度を導入する。 (広瀬和史)

読売新聞 2012年10月27日(市民版)より

市、運営を民間委託へ

仕分けで廃止判定「野外学習センター」

名古屋市の市立高校の野外教育活動の拠点施設「野学センター」(豊田市の)の運営を民間委託する方針を示した。

事業仕分けでは、「他の類似施設でも野外学習は可能」として、民営化も含めた「廃止」と判定された。ただ、ヒアリング調査で、「採算性が見込めない」「立地が悪い」とする意見があったことから、民営化は困難と判断した。

また、市教委は、事業仕分けで「見直し」と判定された「生涯学習センター」について、2014年度から指定管理者制度を導入する方針を示した。

同センターは市内各区に一館、計16館あるが、まず3館程度で指定管理者制度を導入。経費節減や利用者増について検証したうえで、他の施設への拡大を検討するといふ。

名古屋市の市立高校の野外教育活動の拠点施設「野学センター」(豊田市の)の運営を民間委託する方針を示した。

事業仕分けでは、「他の類似施設でも野外学習は可能」として、民営化も含めた「廃止」と判定された。ただ、ヒアリング調査で、「採算性が見込めない」「立地が悪い」とする意見があったことから、民営化は困難と判断した。

また、市教委は、事業仕分けで「見直し」と判定された「生涯学習センター」について、2014年度から指定管理者制度を導入する方針を示した。

同センターは市内各区に一館、計16館あるが、まず3館程度で指定管理者制度を導入。経費節減や利用者増について検証したうえで、他の施設への拡大を検討するといふ。